
「脳腫瘍のゲノム・遺伝子解析とその臨床病理学的意義の解明」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医大総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

症例登録期間：2011年1月1日から2026年9月28日（この間に手術を受けた方）

研究期間：2023年9月1日から2026年9月28日

但し、これらの期間は、必要な手続を経て変更する場合があります。

2. 研究の目的

本研究は、今現在も治療が難しい脳腫瘍の発生にどのような遺伝子が関わっているか調べる目的で行われているものであり、脳腫瘍ゲノムの網羅的な解析を通して、新たな治療反応性バイオマーカーや治療標的分子を発見することを目指したものです。この目的のために、過去に当科にて脳腫瘍に対して手術を受けた患者さんのうち当院で保存している腫瘍検体の一部を本研究のために使用させていただきます。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年9月28日

4. 利用または提供の開始予定日

2023年9月15日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

過去に採取された腫瘍検体の一部と臨床データを用いる研究です。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医大総合医療センター 脳神経外科において、研究責任者である大宅宗一が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

過去に採取された腫瘍検体の一部と臨床データを用います。新たな検査や費用負担が患者さんに生じることはありません。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

基幹研究施設

研究機関：東京大学医学部附属病院脳神経外科

研究責任者：東京大学医学部附属病院脳神経外科 教授 斉藤 延人

共同研究施設

東京大学 大学院医学系研究科

人体病理学・病理診断学分野

東京大学 大学院医学系研究科 分子病理学分野

東京大学 分子神経学講座

東京大学 神経内科

東京大学 大学院医学系研究科 細胞情報学分野

東京大学 分子細胞生物学研究所 分子情報研究分野

東京大学 先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス

東京大学 免疫細胞治療学（メディネット）寄付講座

東京大学 大学院医学系研究科 分子予防医学教室

東京大学 消化器内科

国立がん研究センター中央病院 脳神経外科

国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野

国立がん研究センター研究所 がんゲノミクス研究分野

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 ゲノム病理学分野

埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科

杏林大学医学部 脳神経外科

獨協医科大学 脳神経外科

東京女子医科大学 脳神経外科

東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 先端工学外科

横浜市立大学 脳神経外科

大阪市立大学医学部 脳神経外科

熊本大学 脳神経外科

順天堂大学医学部 脳疾患連携分野研究講座

東京都立神経病院 脳神経外科・検査科

東京警察病院 脳神経外科

公立昭和病院 脳神経外科

虎の門病院 脳神経外科

NTT 東日本関東病院 脳神経外科

カリフォルニア大学サンフランシスコ校 脳神経外科・脳腫瘍研究センター

マクギル大学 小児科 <カナダ>
コロンビア大学 癌発生学研究所
マサチューセッツ総合病院 ハーバード大学医学部 病理科および癌研究センター
タカラバイオ株式会社
ベックス株式会社

4. 試料・情報の管理責任者

試料・情報の授受を行う場合

- <提供元機関> 【埼玉医大総合医療センター】 病院長 別宮好文
- <提供先機関> 【東京大学医学部付属病院 脳神経外科】

5. 試料・情報の提供方法等について

- ・ 使用する検体とデータは完全に匿名化し、個人が特定されないよう個人情報に関しては厳重に管理いたします。
- ・ 個々の症例に関する遺伝子・蛋白解析結果は、患者さんへは原則として開示をいたしません。腫瘍検体の研究利用の拒否を希望される方、あるいは何らかの遺伝カウンセリングを希望される方、は下記の連絡先へご連絡いただけましたらご案内申し上げます。
- ・ 研究成果は、学会や医学雑誌などの発表に使用される場合があります。この際も個人情報が公表されることは全くございません。
- ・ 研究に用いた検体等は本研究が終了する 2026 年 9 月 28 日以降も引き続き保存され、本研究の趣旨と合致する目的を持つ研究については、適切な手続き・審査を経て二次的に活用される可能性があります。
- ・ 研究成果においては、知的財産（特許などを想定しています）が生じる可能性もありますが、その権利は東京大学医学部附属病院脳神経外科が研究参加施設を代表して管理することとなり、検体をご提供いただいた患者さんには知的財産権はございません。
- ・ 本研究は、基幹研究施設における研究者が取得している公的研究費や民間の助成金、ならびに当科の研究費を使用して行われ、特定の企業や団体との利益相反はございません。
- ・ 海外の共同研究施設を含みますので、海外の施設でも試料・情報が提供されます。
- ・ 海外の共同研究施設はアメリカ合衆国、カナダ、ドイツの施設を含みます。
- ・ これらの共同研究施設が存在する国には、連邦法(アメリカ、カナダ)、一般データ保護規則(EU、ドイツ)といった個人情報保護に関する制度が存在します。
- ・ 匿名化を行い、住所氏名などの個人情報が特定されない状態で試料情報が提供されます。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

○研究課題名：脳腫瘍のゲノム・遺伝子解析とその臨床病理学的意義の解明

○研究責任（代表）者埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 教授 大宅宗一

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

TEL: 049-228-3671 (代表) FAX: 049-228-3671